

【湘南国際村めぐりの森植樹祭】 体験レポート 2

5月14日(日)【第24回 湘南国際村めぐりの森植樹祭】に参加をしました。

この度、(株)サンケイアイは運営グループに参加をさせて頂くことになりました。植樹祭の取材記録も撮影することになり、今回は植樹チームと撮影チームで植樹祭を体験してきました。

349名の参加規模で、苗木の総数も3,100本(前回の約3倍!)です。当日の天候が心配され開会式前に通り雨が降りましたが、植樹の時間帯は曇り空のまま、活動をすることができました。

今回の植樹をする場所は、前回(2022/11/6)の植樹地からめぐりの森の少し奥へ入った傾斜部分です。

目的地に向かう途中、過去に植樹をした苗木が生長している様子を見ることができました。

2014年に植えられた苗木ですが2~3mほど大きく生長しており、片手で持てた軽い苗木が大きく生長している様子を実際に見ることが出来て、植樹をすることで森の誕生への実感がよりわかりました。



さて 皆さんは、30by30(サーティ・バイ・サーティ)はご存知でしょうか？

開会式では、環境省が推進している「30by30」の国の保護地域以外で生物多様性保全に資する地域「OECM」の自然共生サイトの解説がありました。主催者の非営利型一般社団法人 Silva(シルワ)(以下、Silva(シルワ))は「30by30」プロジェクトのアライアンスメンバーに登録されており、湘南国際村めぐりの森が自然共生サイトへ登録されることを悲願として、地主である神奈川県と2021年から交渉を続けています。

(環境省では、自然共生サイトを【OECM 保護地域以外の場所で生物多様性保全に貢献する場所】へ加えることを認め、地域・企業と連携し、30by30の達成を目指しています)

世界規模の環境問題と考えると、個人では貢献できないと思ってしまうかもしれませんが、大きな目標には個々の力を集結することが大切で、沢山の苗木を植えるためにも、人の力が必要なのです。

※30by30とは「2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上の面積を保全する」という世界的な目標です。

日本では2021年時点で陸地の20.5%・海域の13.3%が保護地として保全されています。

※ OECM(Other Effective area-based Conservation Measures)
国の保護地域以外の、民間・企業が管理する緑地や漁業管理地域等の生物多様性保全に資する地域。

※自然共生サイト

民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域。

※環境省 30by30について

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>

シルワホームページより

<https://www.silva.or.jp/>

30by30の話しを伺い、より個人の力が大切なんだと意識した植樹活動になりました。

今回の土壌は、横浜市の「瀬上市民の森」の土が土台となっています。Silva(シルワ)の方々が開発のため、廃棄予定となった「瀬上市民の森」の山砂を引き取り、2018年から土壌手当を実施。5年の歳月をかけて今回の植樹地の土台となりました。

森づくりと同様、土づくりもまた長い年月がかかること、植樹祭を開催する迄には大変な苦労があることを改めて実感しました。



そして、植える前には人の手で最後の水やりです。植樹地の手前に苗木を準備して頂き、カップのついた状態の苗木をトレイごと水に浸す作業をします。カップ内の土から気泡があがらなくなるまで浸し、気泡が出なくなったらトレイを引き上げ、そのまま水が切れるまで待ちます。作業を終えた後、苗木が入ったトレイごと植樹地へ運びました。





全体で植える苗木の本数は前回の倍以上になっていますが、平らな場所に盛られた土壌での植樹作業と同じかと思っていたところ、今回は多少傾斜になっている場所でした。その上には、事前に藁が敷かれている状態です。

すでに縄で固定され束の重なった藁を一旦手で掻き分けてから、土の表面を晒してスコップで土を掘っていく…前回とは少し違う作業でした。

土は柔らかくとても掘りやすいけれど、敷き詰められ固定された藁を除けつつ、植樹をする際の注意点【同じ種類の苗木を植えない】・【苗木の根元は押し固めない】・【せつかく植えた苗木を踏まないように気を付ける】を念頭に作業に入りましたが、前回とは勝手が違い一苦労しました。時間をかけ、周りのメンバーにも助けをもらいながら、気づけば夢中で苗木を植えていました。

大変な作業でしたが、多く苗木を植えることが出来て、充実した時間を過ごせて、とても楽しかったです。



無事に苗木を植え終えてから、前回の植樹地を見に行くことができました。植える時は30cm程の苗木が、植樹地へ向かう途中で見たような、過去に植えられてきた木々のように、ますます大きくなり森へと生長していくのが楽しみです。



2022年11月6日



2023年5月14日

緑に囲まれ過ごした時間はあっという間でしたが、リフレッシュしながら自然の大切さを改めて感じることができました。

みなさんもSDGs活動として、植樹体験はいかがでしょう？

5月14日の様子は(株)サンケイアイが取材し、後日YouTubeにて公開予定です。お時間のあるときにぜひご覧ください。

次の開催は、2023年11月12日(日)を予定しています。

【湘南国際村めぐりの森植樹祭】は年に2回開催されます。

このレポートを見て、ご興味を持たれた方、次回の参加を希望される方は

主催者：非営利型一般社団法人 **Silva (シルワ)** のホームページをご確認ください。

<https://www.silva.or.jp/>



Silva

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【お問い合わせ】

株式会社サンケイアイ【SDGsプロジェクトチーム】

<https://www.sankei-eye.co.jp/contact/>

(当社HPよりアクセスをお願い致します)